

「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

ことう地域チームケア研究会 たよい

平成30年7月25日発行

第33回ことう地域チームケア研究会を開催しました

- ◆開催日時:平成30年7月12日(木) 18:30~20:30 (会場:くすのきセンター)
- ◆担当団体:彦根医師会・第5地区訪問看護ステーション連絡協議会
- ◆参加者:88名(医療関係者35名、福祉関係者25名、行政・包括等28名*内新規17名)

願い

「家で過ごしたい。そして、家族と旅行に行きたい。温泉に入りたい。」

ある終末期の患者・家族の方への支援の報告

「終末期をどう過ごし、どのように支えあいますか」
～最期の望みを叶えるチームアプローチ～

行こう！家族みんなで温泉旅行！！

願いをかなえるのに、あまり時間はありませんでした。もしかしたら無理かもしれない…、でも…。すぐに家族・専門職が動きました。誰も立ち止まらずに、それぞれが考えられるリスクに対応できるように話し合い、行動し、連携し、その日を迎えました。

すぐに動くことができたのは、“願い”をみんながしっかりと受け止め、実現させようと同じ方向を向いていたから。そして、みんなには覚悟と信頼がありました。

【主治医・訪問看護師】

旅行に向けて薬の調整や宿泊施設の下見をしました。食事中も入浴中も、家族とくつろいでいる時も、安心して過ごせるようにそばで体調管理を行いました。



松木明さん
(松木診療所)



吉田幸恵さん・柴田恵子さん
(訪問看護ステーションふれんず)



【福祉用具専門相談員】

安心・安全に過ごせるよう、事前に宿泊施設と調整し、万全な環境を準備しました。

片桐靖之さん(株) トーカイ

【ケアマネジャー】

本人・家族、支援チームの思いを大切に、支援の方向性を示し、チームづくり、支援体制を整えました。



小川圭子さん(ケアプランセンターどりーむ)

【宿泊施設】(かんぽの宿) 河原拓人さん



「宿からお客様をお見送りした後で、お客様にこんなストーリーがあったことを知ることができました。どなたにも喜んでいただける宿を目指しています。皆さんに宿のことをもっと知っていただけて、利用していただきたいと思います。」

☆今回はうまく支援できたけれど今後の課題も

この支援を通して見えた課題についても、皆さんから提起していただくことができました。

～ご家族より～

妻) みなさんのおかげで本当にいい時間を過ごすことができました。もう一度行きたいと話していました。
娘) おじいちゃんの死が近づいていることを子どもたちにも告げ旅行に参加しました。子どもたちは、子どもたちなりにその事実を受け止め、自分たちで今おじいちゃんにできることを考えて心のこもった手紙をプレゼントしました。命の尊さ、生きること、そして死というものについておじいちゃんは教えてくれました。家族にとって素敵な時間を過ごすことができました

グループ交流会

(*グループ交流会での意見を一部抜粋しています)



○話題提供を聞いた感想、もっと知りたいと思ったことなど

- ◆研究会の目的にもあるように、「顔の見える関係」や「手をつなぎ合える関係」があるからこそできた支援ではないかと思った。
- ◆日々の思いを聞くこと、思いを受け止めることは大事であると思った。
- ◆マイナス面やリスク面よりも、支援者も家族も覚悟があったからこそ実現ができたと思う。
- ◆「覚悟」と互いの「信頼感」。あきらめてしまいがちな状況だったが、それぞれの強い思いがあって実現できたと思う。
- ◆一番大切なのは、本人や家族が満足されているかどうか。私もめざしていきたいと思った。
- ◆すごいことができるんだと思った。
- ◆良い資源があることを知り利用したいと思った。
- ◆本人や家族の思いに寄り添うチームのすばらしさを感じた。
- ◆ケアマネジャー、スタッフの行動力はすばらしい。ケアマネジャーはどうやってまとめたのか。
- ◆終末期のペインコントロールについて

○その人の願いを叶えるチームアプローチについて、どんなことを思いましたか。

- ◆願いを叶えようとする時に、一般の人はまず不安が大きいと思うが、ニーズに対する様々な支援の方法、実現の方法を提案ができるのが専門職ではないだろうか。
- ◆こんな方法があるということを伝えていく必要がある。社会資源や支援の可能性を知ることができる。
- ◆市民の方にも社会資源や在宅看取りを知ってもらうようにする必要があると思った。
- ◆体調の急変への対応、覚悟

願いに気づいてあげられるようにしたい。
一つひとつの願いをかなえていきたい。

- ◆疾患によって出来ること、できないことがあると思うが、小さな願いでも（例えば、「外出したい」「庭を見てみたい」等）叶えてあげたいと思う。

今回は、ご家族様、民間の宿泊施設の方からも支援についての思いをお聞きすることができました。医療福祉専門職だけでなく、さまざまな分野、そして地域住民のみなさんが、自分らしい（その人らしい）暮らしを実現するにはどうすればいいのか、地域全体で支えあうためにはどう動きだすといいのか等、いくつもの大事な課題を示していただけたのではないかと思います。そして、家族関係、チームアプローチ、地域づくりの基盤にあるのはやはり信頼だなとあらためて感じました。これからも、信頼し合い、手をつなぎ合える関係を広げていきましょう！そして、みんなで共有しあいましょう！



ご参加ください！ 次回(第34回)は…

◆平成30年9月13日(木) 18:30~20:30

会場:くすのきセンター1階

テーマ:「わがまちの地域包括ケア Part 2」

担当団体:彦根薬剤師会

市・町の地域包括支援センター

*研究会は申込み不要です。当日会場へお越しください

*問い合わせ先:ことう地域チームケア研究会事務局

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)

彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)

お知らせメールの登録をお願いします。

研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、「①お名前 ②ご所属 ③ひと言」をいれて下記にメール送信してください。

☆ことう地域チームケア研究会事務局

(E-mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp

彦根市・美濃市・加賀市・白川町・丹波町・多賀町

在宅医療福祉情報の森

<http://kusunoki-iyoho-mori-kotou-shiga.or.jp/>
ホームページで研究会の情報をご覧いただけます。

こんなこと思いました

第33回参加者アンケートより

思ったこと、もう少し聞きたいことなど

【介護福祉士・介護職員】

- かんぽの宿の今後の利用方法を考えてみたいと思った。もっとポピュラーになってほしい。他の事業所との連携による利用者の拡大。
- ご家族様より貴重なお話が聞けてよかった。いろいろな想いもあったとは思うけど、旦那様の想いが伝わり、それが実現できたことは、わずかではあったかもしれないけど、生きる希望に繋がったと思います。ありがとうございました。
- 在宅生活での様子（食事）について知りたかった。

【介護支援専門員】

- ケアマネとしていかに本人、家族の思いを聞き取ることができるか、聞き取る力を磨く必要があると改めて気づかされました。
- 本人の状態、薬のことをもう少し聞きたい。
- よいお出合いをされたのだなと思いました。チーム全員それぞれの力量があってこそできたことであり、素晴らしいと感動しました。
- 看取りのときの対応の早さがすごいと思った。本人・家族の思いを実現させるために関わるすべての人が強い思いを持ってチームで対応できたところが成功に繋がったと思った。
- ケアマネとして、その人の可能性を広げる関わりが大事。
- 大変素晴らしい事例報告を聞くことができて良かったです。
- 最期を皆が満足できる迎え方ができてよかったと思う。泊まり料金やスタッフの料金はどうされましたか？

【行政関係者】

- 大変勉強になりました。看取りについては覚悟が必要だと思いました。

【薬剤師】

- 聞くことがなかった終末期医療の関わりの事例が聞けてよかった。
- ターミナル医療連携の非常に素晴らしい事例でした。
- 素晴らしいのひとことです。皆様のチームワークと専門職としての覚悟、とても伝わりました。
- 多職種が連携することで旅行を実現できることを知りました。患者さんの希望を聴く力が必要なことを知りました。（薬学部学生）
- 直接看取りに関わるのが少ないため他職種の話をお聞きして希望をかなえることが難しく、今回はよい結果となった症例ではあったが、実際はそういかないことも多いことが知れた。

【訪問看護師】

- 金額、気になります。
- 『願いは大きなものだけでなく、小さな願いでもかなえることが大切では』と、話題提供者の方からとてもよい言葉を聞きました。
- 本人、家族の思いをケアスタッフがきちんととらえ、支えようとしたことが今回の成功に繋がったと思います。

【管理栄養師】

- 管理栄養士として何ができるのか深く考えました。

【保健師】

- ・素晴らしい事例をご紹介いただきありがとうございました。好事例の輪が広がるように、一歩進みたいと思います。

【職種不明】

- ・家族の覚悟、支え側の覚悟を持つこと。本人のしたいことを聴く力を持つ。
- ・チームの御好意だけで続くとは思えないので、サービスを規格化などしてターミナル期の生活の質を上げていけるとよいと思いました。
- ・夫の末期がんの日々を思い出しました。一人で温泉旅・・・車椅子を押して周りの人たちに手伝ってもらいました。
- ・実際の家族の思いや話が聞けたこと、関係職種の立場から聞けたこと、グループワークも貴重な話を聞いてよかったです。
- ・研究会初参加で大変よかったです。連携の重要性が認識されたのでは。

貴重なご意見・ご感想、本当にありがとうございました。



●参加者の方の所属事業所（順不同）

* 同意をいただいた事業所様のみ掲載しています

【病院 診療所】松木診療所・中西医院・上林医院・彦根市立病院・彦根中央病院・友仁山崎病院・

【歯科医院】あかい歯科矯正歯科・木村歯科医院・つつみ歯科医院・アンジュデンタルクリニック

【薬局】丁字屋薬局・リリー薬局・ユタカ薬局彦根南・わかば薬局・疋田調剤薬局・わかば薬局神埼店

【訪問看護ステーション】訪問看護ステーションふれんず・レインボウとよさと・レインボウはたしよ

【居宅介護支援事業所】マックスとよさと・マックスひこね・愛あいステーション・あったかケアプランセンター・笑ケアプランセンター・彦根市社会福祉協議会居宅・ぶどう居宅介護支援事業所・ケアマネジメントセンターライフ・さざなみ苑居宅支援センター・NPO ほぼハウス・鈴木ヘルスケアサービス・居宅介護支援センター元気村・ケアプランセンターどりーむ・信幸ケアサービスセンター・

【介護サービス事業所】特別養護老人ホームさざなみ苑・特別養護老人ホームゆりの郷・トーカイ・サニープレイス彦根・デイケアはるのうみ・デイホームぶどう・信幸介護タクシー・田中ケアサービス・あんじえす彦根城・パストラルとよさと

【地域包括支援センター】愛荘町・多賀町・彦根市（すばる・いなえ・ひらた・ゆうじん）

【行政関係 医療福祉専門職団体】彦根市医療福祉推進課・多賀町福祉保健課・湖東健康福祉事務所・

【その他】花かたばみの会・かんぼの宿・中北薬品



パストラルとよさと
管理栄養士 安田さん

【情報提供タイムより】

ご存知でしたか？8月4日は「栄養の日」

たのしく食べる、カラダよろこぶ。（8月1日～7日 栄養週間）

栄養の日・栄養週間オリジナルイベント『栄養ワンダー2018』が全国各地で開催されます（平成30年7月2日～8月31日）。この取組の一環として、今回、湖東地域の「湖東 食と栄養を考える会」管理栄養師さんの皆さんが、“栄養のたのしみ方、大切さ”について情報提供をしてくださいました！！ありがとうございました。